

表10-2 プランクトン同定計数結果
手賀沼

採取地		採取年月日		根戸下		手賀沼中央	
		H 19. 4. 9		H 19. 4. 9			
採取時刻		10:10		10:35			
全水深 (m)		2.35		1.70			
採取水深 (m)		0.20		0.20			
採水量 (ml)		100		100			
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon spp.		+		+
2			Microcystis aeruginosa				+
3			Phormidium spp.		(360)		(260)
4			CYANOPHYCEAE (トリコーム)		+		
5	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.		420		400
6	不等毛植物	珪藻	Asterionella formosa				+
7			Aulacoseira spp.		+		+
8			Nitzschia acicularis		280		220
9			Nitzschia spp.		560		760
10			Skeletonema potamos		500		700
11			Synedra acus		60		60
12			Synedra ulna				20
13			Synedra spp.		160		400
14			Thalassiosiraceae-5		6090		12000
15			Thalassiosiraceae-10		39800		57300
16			Thalassiosiraceae-25		8060		11300
17			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.		20
18	緑色植物	緑藻	Actinastrum hantzschii		160		560
19			Chlamydomonas spp.		120		60
20			Chlorogonium spp.				100
21			Micractinium spp.		600		800
22			Monoraphidium spp.		300		240
23			Oocystis sp.		160		
24			Scenedesmus spp.		640		800
25			Schroederia sp.		20		
26			Tetrastrum staurogeniaeforme		80		80
27			CHLOROPHYCEAE				160
28	輪形動物	輪虫	Brachionus spp.		2		
29	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.		3		
30			CILIOPHORA		60		40
31	不明プランクトン	—	微小鞭毛藻 (5 μm以下)		12000		19500
32			鞭毛藻		840		760
総数					71295		106520
種類組成			藍藻		360		260
			クリプト藻		420		400
			渦鞭毛藻		0		0
			黄金色藻		0		0
			珪藻		55510		82760
			ユーグレナ藻		20		0
			緑藻		2080		2800
			その他の植物性動物		12840		20260
		65		40			
検査条件			固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定 (1%) 定性試料：無処理		
			分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料 7ml を遠心分離 (1160×g) により濃縮した。		
			検鏡条件		定量試料：専用計数盤 (1.0ml及び0.5ml) に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡 (100～400倍) で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
			検鏡者所属氏名		(財) 千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久		
備考							
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に () を付した。 定量検鏡 (計数時) において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別 (3種類) に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属, Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径 (3サイズ: 5 μm, 10 μm, 25 μm) で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 							

採取地		採取年	採取月	採取日	根戸下	手賀沼中央
採取地		H 19.	4.	26		
採取時刻		13:40		13:57		
全水深 (m)		2.40		1.81		
採取水深 (m)		0.20		0.20		
採水量 (ml)		100		100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon sp.			+
2			Phormidium spp.		(180)	(620)
3			CYANOPHYCEAE (トリコーム)			(20)
4	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.		340	480
5	不等毛植物	珪藻	Aulacoseira ambigua		+	+
6			Aulacoseira distans		180	+
7			Aulacoseira granulata			+
8			Aulacoseira spp.		340	
9			Nitzschia acicularis		140	100
10			Nitzschia spp.		380	640
11			Skeletonema potamos		5980	13100
12			Surirella sp.		1	
13			Synedra acus		20	60
14			Synedra spp.		160	160
15			Thalassiosiraceae-5		2330	10400
16			Thalassiosiraceae-10		7020	16300
17			Thalassiosiraceae-25		1880	840
18	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.		20	
19			Trachelomonas sp.		20	
20	緑色植物	緑藻	Actinastrum hantzschii			80
21			Ankya ancora			100
22			Chlorogonium sp.		20	
23			Closterium sp.		+	
24			Dictyosphaerium spp.			480
25			Micractinium spp.		520	480
26			Monoraphidium spp.		420	940
27			Scenedesmus spp.		440	240
28			Tetraedron sp.			20
29			Tetrastrum staurogeniaeforme			80
30			CHLOROPHYCEAE		220	60
31	輪形動物	輪虫	Brachionus spp.			2
32			Trichocercidae			1
33	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.		3	1
34			CILIOPHORA		140	120
35	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)		7700	15900
36			鞭毛藻		2040	660
総数					29994	61884
種類組成		藍藻		180	640	
		クリプト藻		340	480	
		渦鞭毛藻		0	0	
		黄金色藻		0	0	
		珪藻		17931	41600	
		ユーグレナ藻		40	0	
		緑藻		1620	2480	
		その他の植物性動物		9740	16560	
			143	124		
検査条件		固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定 (1%) 定性試料：無処理		
		分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料 7ml を遠心分離 (1160×g) により濃縮した。		
		検鏡条件		定量試料：専用計数盤 (1.0ml 及び 0.5ml) に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡 (100～400倍) で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
		検鏡者所属氏名		(財) 千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久		
備考						
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻網の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に () を付した。 定量検鏡 (計数時) において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を + で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別 (3種類) に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属, Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径 (3サイズ: 5 μm, 10 μm, 25 μm) で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						

手賀沼

採取地		採取年	採取月	採取日	根戸下	手賀沼中央
採取地		H 19.	5.	8	H 19.	5. 8
採取時刻		11:04		11:25		
全水深 (m)		2.40		1.75		
採取水深 (m)		0.20		0.20		
採水量 (ml)		100		100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon sp.			+
2			Myxosarcina sp.		(20)	
3			Phormidium spp.			(260)
4	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.		20	660
5	不等毛植物	珪藻	Asterionella formosa		80	
6			Aulacoseira ambigua			200
7			Aulacoseira distans		80	40
8			Aulacoseira spp.		80	200
9			Navicula sp.		+	
10			Nitzschia acicularis		20	100
11			Nitzschia spp.		200	300
12			Skeletonema potamos		79900	174000
13			Synedra acus			80
14			Synedra spp.		20	60
15			Thalassiosiraceae-5		3220	7160
16			Thalassiosiraceae-10		2820	7340
17			Thalassiosiraceae-25		100	700
18	緑色植物	緑藻	Ankrya ancora			20
19			Microactinium spp.		800	
20			Monoraphidium spp.		80	180
21			Pediastrum duplex			+
22			Scenedesmus spp.		600	640
23			Schroederia sp.			20
24			Tetraedron sp.		20	
25	輪形動物	輪虫	Keratella sp.			1
26			Polyarthra sp.			1
27	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium sp.		1	
28	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)		4120	20800
29			鞭毛藻		240	700
総数					92421	213462
種類組成		藍藻	藻		20	260
		クリプト藻	藻		20	660
		渦鞭毛藻	藻		0	0
		黄金色藻	藻		0	0
		珪藻	藻		86520	190180
		ユーグレナ藻	藻		0	0
		緑藻	藻		1500	860
		その他の植物性動物	性		4360	21500
		動物性	性		1	2
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理			
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料 7ml を遠心分離（1160×g）により濃縮した。			
		検鏡条件	定量試料：専用計数盤（1.0ml 及び 0.5ml）に検鏡試料を注入して一 昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。			
		検鏡者所属氏名	（財）千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久			
備考						
<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						

手賀沼

採取地		採取年	採取月	採取日	採取時刻	根戸下	手賀沼中央
採取地		H 19.	5.	22	10:07		H 19. 5. 22
採取時刻				10:07		10:43	
全水深 (m)				2.38		1.67	
採取水深 (m)				0.20		0.20	
採水量 (ml)				100		100	
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon sp.				+
2			Phormidium spp.		+		(80)
3	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.		300		940
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridiniaceae		60		20
5			DINOPHYCEAE		120		
6	不等毛植物	珪藻	Aulacoseira ambigua				660
7			Aulacoseira distans		240		260
8			Aulacoseira granulata		+		80
9			Nitzschia acicularis		40		60
10			Nitzschia spp.		120		160
11			Skeletonema potamos		35600		82400
12			Svnedra spp.		+		40
13			Thalassiosiraceae-5		4660		12500
14			Thalassiosiraceae-10		1020		5910
15			Thalassiosiraceae-25		100		200
16	緑色植物	緑藻	Coelastrum spp.		+		400
17			Coenochloris pyrenoidosa				
18			Coenocystis planctonica				
19			Golenkinia radiata				20
20			Micractinium spp.		240		960
21			Monoraphidium spp.		60		60
22			Pediastrum boryanum				+
23			Pediastrum duplex				+
24			Scenedesmus spp.		600		720
25			Tetrastrum staurogeniaeforme		80		80
26	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.		1		
27			Polyarthra sp.				1
28	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.		5		23
29		—	CILIOPHORA				80
30	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)		5370		18400
31			鞭毛藻		920		800
総数					49536		124854
種類組成			藍藻	0			80
			クリプト藻	300			940
			渦鞭毛藻	180			20
			黄金色藻	0			0
			珪藻	41780			102270
			ユーグレナ藻	0			0
			緑藻	980			2240
			その他の植物性動物	6290			19200
			動物性	6			104
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理				
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料 7 ml を遠心分離（1160×g）により濃縮した。				
		検鏡条件	定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一 昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。				
		検鏡者所属氏名	(財)千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久				
備考							
<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 							

手賀沼

採取地		採取年	採取月	採取日	根戸下	手賀沼中央
採取地		H 19.	6.	5	H 19.	6. 5
採取時刻		10:15		10:34		
全水深 (m)		2.32		1.62		
採取水深 (m)		0.20		0.20		
採水量 (ml)		100		100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon sp.			+
2			Merismopedia sp.			(20)
3			Phormidium spp.		(20)	(40)
4	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.		360	60
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridiniaceae		60	20
6			DINOPHYCEAE			140
7	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.			20
8		珪藻	Asterionella formosa		60	
9			Aulacoseira ambigua		360	360
10			Aulacoseira distans		480	280
11			Aulacoseira granulata			360
12			Nitzschia acicularis		20	100
13			Nitzschia spp.		180	400
14			Skeletonema potamos		130000	102000
15			Synedra acus			+
16			Synedra sp.			40
17			Thalassiosiraceae-5		11100	16100
18			Thalassiosiraceae-10		10900	11600
19			Thalassiosiraceae-25		460	400
20	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.		20	+
21	緑色植物	緑藻	Ankya ancora		40	
22			Chlorogonium sp.		20	
23			Chodatella sp.		40	
24			Coelastrum spp.		320	320
25			Eudorina sp.		+	
26			Microactinium spp.		240	400
27			Monoraphidium spp.		120	160
28			Pediastrum duplex		+	+
29			Pediastrum tetras			+
30			Scenedesmus spp.		960	1560
31			CHLOROPHYCEAE		320	680
32	輪形動物	輪虫	Polyarthra sp.			14
33			Trichocercidae		1	2
34	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.		2	1
35			CILIOPHORA		80	20
36	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)		14100	11600
37			鞭毛藻		820	240
38			動物性			120
総数					171083	147057
種類組成		藍藻		20	60	
		クリプト藻		360	60	
		渦鞭毛藻		60	160	
		黄金色藻		0	20	
		珪藻		153560	131640	
		ユーグレナ藻		20	0	
		緑藻		2060	3120	
		その他の植物性動物		14920	11840	
		83	157			
検査条件		固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
		分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料 7ml を遠心分離（1160×g）により濃縮した。		
		検鏡条件		定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレバートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
		検鏡者所属氏名		(財)千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久		
備考						
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレバートを作成して珪藻網の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						

手賀沼

採取地		採取年	採取月	採取日	根戸下	手賀沼中央
採取地		H 19. 6. 18			H 19. 6. 18	
採取時刻		9:53			10:17	
全水深 (m)		2.40			1.70	
採取水深 (m)		0.20			0.20	
採水量 (ml)		100			100	
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon spp.	+	+	
2			Microcystis aeruginosa		+	
3			Phormidium spp.	(20)	(40)	
4	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	280	120	
5	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	60	20	
6		珪藻	Asterionella formosa	60		
7			Aulacoseira ambigua	880	500	
8			Aulacoseira distans	440	740	
9			Aulacoseira granulata	620	860	
10			Navicula sp.	20		
11			Nitzschia acicularis	20	80	
12			Nitzschia spp.	480	800	
13			Skeletonema potamos	33500	61300	
14			Synedra acus	+	20	
15			Synedra spp.	40		
16			Thalassiosiraceae-5	9130	5730	
17			Thalassiosiraceae-10	3700	8240	
18			Thalassiosiraceae-25	1080	1880	
19	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	20		
20	緑色植物	緑藻	Actinastrum hantzschii	320		
21			Chlamydomonas sp.	20		
22			Chlorogonium spp.		40	
23			Chodatella sp.		20	
24			Coelastrum spp.	480		
25			Crucigenia crucifera	160	320	
26			Crucigenia lauterbornii		+	
27			Eudorina elegans	+	+	
28			Eudorina spp.	1280	2880	
29			Golenkinia radiata		20	
30			Klebsormidium sp.		+	
31			Micractinium spp.	2080	880	
32			Monoraphidium spp.	20	180	
33			Pandorina morum	960	640	
34			Pediastrum duplex	+	+	
35			Pediastrum simplex		+	
36			Pleodorina sp.		+	
37			Polyedriopsis spinulosa		20	
38			Scenedesmus spp.	480	960	
39			Schroederia spp.	20	40	
40			Tetraedron sp.	20		
41			Tetrastrum staurogeniaeforme	160	160	
42			Treubaria sp.		20	
43			CHLOROPHYCEAE	420	20	
44	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.		1	
45			Keratella sp.		3	
46			Polarthra spp.	2	7	
47			Testudinella patina		1	
48			Trichocercidae		2	
49	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium sp.		+	
50			CILIOPHORA	20	40	
51	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	23500	19300	
52			鞭毛藻	1800	1060	

採取地		採取年	採取月	採取日	根戸下	手賀沼中央
採取地		H 19. 6. 18			H 19. 6. 18	
種類組成		総数			82092	106944
		藍藻			20	40
		クリプト藻			280	120
		渦鞭毛藻			0	0
		黄金色藻			60	20
		珪藻			49970	80150
		ユーグレナ藻			20	0
		緑藻			6420	6200
		その他の植物性動物			25300	20360
					22	54
検査条件		固定条件			定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
		分離条件			定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料 7ml を遠心分離（1160×g）により濃縮した。	
		検鏡条件			定量試料：専用計数盤（1.0ml 及び 0.5ml）に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。	
		検鏡者所属氏名			(財)千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久	
備考		<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 				

手賀沼

採取地		採取年	採取月	採取日	採取時刻	水深(m)	採水水量(ml)	根戸下	手賀沼中央
		H 19.	7.	5	10:21	2.21	100	H 19. 7. 5	H 19. 7. 5
				10:21		2.21	100		10:41
						2.21	100		1.70
						0.20	100		0.20
							100		100
No.	門	綱	出現種名						
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon spp.			+			+
2			Merismopedia sp.						(20)
3			Microcystis aeruginosa						+
4	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.		260				580
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridiniaceae		120				80
6	不等毛植物	珪藻	Attheya zachariasii						20
7			Aulacoseira ambigua			+			1300
8			Aulacoseira distans		600				1840
9			Aulacoseira granulata		440				720
10			Nitzschia acicularis						40
11			Nitzschia spp.		160				1460
12			Skeletonema potamos		11100				10700
13			Synedra acus						20
14			Thalassiosiraceae-5		5730				8600
15			Thalassiosiraceae-10		220				1640
16			Thalassiosiraceae-25		280				820
17	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.		20				20
18			Phacus sp.						20
19			Trachelomonas sp.		20				
20	緑色植物	緑藻	Actinastrum hantzschii						+
21			Coelastrum sp.						160
22			Crucigenia crucifera		320				
23			Eudorina elegans						+
24			Eudorina spp.			+			+
25			Golenkinia radiata						40
26			Micractinium spp.		160				1120
27			Monoraphidium spp.		140				380
28			Pediastrum duplex			+			+
29			Pediastrum tetras						320
30			Polyedriopsis spinulosa		20				40
31			Scenedesmus spp.		520				1000
32			Schroederia sp.						20
33			Tetraedron sp.						20
34			Tetrastrum staurogeniaeforme						240
35			CHLOROPHYCEAE		60				1200
36	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.						+
37			Filinia sp.						1
38			Polarthra spp.		1				5
39			Testudinella patina			+			
40			Trichocercidae		1				
41	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.		8				16
42			CILIOPHORA		20				20
43	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)		11300				10000
44			鞭毛藻		640				1080
45			動物性						20
総数					32140				43562
種類組成		藍藻		0					20
		クリプト藻		260					580
		渦鞭毛藻		120					80
		黄金色藻		0					0
		珪藻		18530					27160
		ユーグレナ藻		40					40
		緑藻		1220					4540
		その他の植物性		11940					11080
		動物性		30					62
検査条件		固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理					
		分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料7mlを遠心分離（1160×g）により濃縮した。					
		検鏡条件		定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一 昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。					
		検鏡者所属氏名		（財）千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久					
備考									
<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 									

採取地		採取年		採取時刻		水深		採水量	
採取地		年 月 日		時 刻		(m)		(ml)	
		H 19. 7. 19		9:36		2.32		100	
				10:04		1.62		100	
						0.20		100	
						0.20		100	
No.	門	綱	出現種名						
1	藍色植物	藍藻	Merismopedia spp.	(40)					(40)
2	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	420					760
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridiniaceae						20
4			DINOPHYCEAE	60					80
5	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.						40
6		珪藻	Attheya zachariasii	60					20
7			Aulacoseira ambigua	120					300
8			Aulacoseira distans	600					1640
9			Aulacoseira granulata	320					320
10			Aulacoseira sp.	140					
11			Nitzschia acicularis	120					80
12			Nitzschia spp.	320					1860
13			Skeletonema potamos	5580					9130
14			Surirella sp.						1
15			Synedra acus	+					
16			Synedra sp.	20					
17			Thalassiosiraceae-5	2690					3400
18			Thalassiosiraceae-10	660					900
19			Thalassiosiraceae-25	600					620
20	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	40					40
21	緑色植物	緑藻	Closterium sp.						1
22			Coelastrum sp.						160
23			Dictyosphaerium sp.						960
24			Eudorina elegans	+					
25			Micractinium spp.	720					360
26			Monoraphidium spp.	100					260
27			Pediastrum duplex	+					+
28			Pediastrum tetras						+
29			Polyedriopsis spinulosa						20
30			Scenedesmus spp.	240					160
31			Tetrastrum punctatum						80
32			Tetrastrum staurogeniaeforme						320
33			CHLOROPHYCEAE	20					60
34	輪形動物	輪虫	Asplanchna sp.						1
35			Polyarthra spp.	2					3
36			Trichocercidae						1
37	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	7					2
38			CILIOPHORA	40					40
39	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	10400					12900
40			鞭毛藻	880					1480
総数				24199					36059
種類組成									
藍藻				40					40
クリプト藻				420					760
渦鞭毛藻				60					100
黄金色藻				0					40
珪藻				11230					18271
ユーグレナ藻				40					40
緑藻				1080					2381
その他の植物性動物				11280					14380
動物性				49					47
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理						
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料7mlを遠心分離（1160×g）により濃縮した。						
		検鏡条件	定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。						
		検鏡者所属氏名	（財）千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久						
備考									
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 									

採取地		採取年		採取時刻		水深		採取水量		
採取地		採取年		採取時刻		水深		採取水量		
		H 19. 8. 6		14:13		2.34		100		
		H 19. 8. 6		13:50		1.69		100		
						0.20		100		
								100		
No.	門	綱	出現種名							
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (藍芽トリコム)		+					
2			Aphanizomenon sp.		+					
3			Aphanocapsa spp.		(20)				+	
4			Merismopedia spp.		(160)				(260)	
5			Microcystis aeruginosa		+				+	
6			Phormidium spp.		(120)				(540)	
7			CYANOPHYCEAE (トリコム)		(40)				(120)	
8	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.		160			180		
9	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridiniaceae					20		
10	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.					60		
11			Aulacoseira ambigua		120			520		
12			Aulacoseira distans		260			420		
13			Aulacoseira granulata		120			520		
14			Fragilaria crotonensis		+					
15			Navicula sp.					20		
16			Nitzschia acicularis		80			60		
17			Nitzschia spp.		880			4840		
18			Skeletonema potamos		50100			19300		
19			Surirella sp.					1		
20			Synedra acus		40			20		
21			Synedra spp.					40		
22			Thalassiosiraceae-5		21300			20200		
23			Thalassiosiraceae-10		11300			17000		
24			Thalassiosiraceae-25		1260			1300		
25			緑色植物	緑藻	Actinastrum hantzschii		+			1280
26					Chlorogonium spp.		20			40
27					Coelastrum spp.		320			320
28					Golenkinia radiata		20			200
29					Micractinium spp.		320			1200
30					Monoraphidium spp.		420			760
31					Pandorina morum		+			
32					Pediastrum duplex		+			320
33					Pediastrum simplex		+			+
34	Scenedesmus spp.				480			1200		
35	Schroederia spp.				20			220		
36	Tetraedron spp.							40		
37	Tetrastrum elegans				80					
38	Tetrastrum staurogeniaeforme				80					
39	Treubaria sp.							20		
40	CHLOROPHYCEAE		880			400				
41	輪形動物	輪虫	Asplanchna sp.					1		
42			Brachionus sp.					1		
43			Filinia sp.					1		
44			Keratella spp.		1			1		
45			Polyarthra sp.					6		
46			Trichocercidae		1			1		
47	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.		5			4		
48			CILIOPHORA		40			80		
49	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)		9850			10900		
50			鞭毛藻		780			680		
総数					99283			83090		
種類組成										
藍藻					340			920		
クリプト藻					160			180		
渦鞭毛藻					0			20		
黄金色藻					0			60		
珪藻					85460			64241		
ユーグレナ藻					0			0		
緑藻					2640			6000		
その他の植物性動物					10630			11580		
動物					53			89		
検査条件										
固定条件					定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定 (1%) 定性試料：無処理					
分離条件					定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料 7ml を遠心分離 (1160×g) により濃縮した。					
検鏡条件					定量試料：専用計数盤 (1.0ml 及び 0.5ml) に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡 (100~400倍) で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。					
検鏡者所属氏名					(財) 千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久					
備考										
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体系で計数してその結果に () を付した。 定量検鏡 (計数時) において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコムの形態別 (3種類) に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wessenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wessenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wessenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径 (3サイズ: 5 μm, 10 μm, 25 μm) で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 										

手賀沼

採取地		採取年 月 日		根 戸 下		手賀沼中央			
		H 19. 8. 20		H 19. 8. 20					
採取時刻		13:07		13:28					
全水 深 (m)		2.41		1.65					
採取水 深 (m)		0.20		0.20					
採水 量 (ml)		100		100					
No.	門	綱	出現種名						
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (直線トリコーム)	+		(80)			
2			Anabaena (螺旋トリコーム)	+		+			
3			Aphanizomenon spp.	+		(20)			
4			Aphanocapsa spp.			(60)			
5			Chroococcus spp.			40			
6			Merismopedia spp.	(220)		(740)			
7			Microcystis aeruginosa	+		5540			
8			Microcystis wesenbergii			+			
9			Phormidium mucicola	(20)		+			
10			Phormidium spp.	(580)		(1980)			
11			Raphidiopsis curvata			+			
12			CYANOPHYCEAE (トリコーム)	(40)		(140)			
13	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	320		340			
14	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	DINOPHYCEAE	20					
15	不等毛植物	珪藻	Aulacoseira ambigua			320			
16			Aulacoseira distans	200		80			
17			Aulacoseira granulata	580		620			
18			Aulacoseira spp.	520		720			
19			Nitzschia acicularis			100			
20			Nitzschia spp.	1440		3120			
21			Skeletonema potamos	10200		5910			
22			Synedra acus			20			
23			Synedra rumpens			20			
24			Synedra sp.			20			
25			Thalassiosiraceae-5		15400	32100			
26			Thalassiosiraceae-10		14100	12900			
27			Thalassiosiraceae-25		240	680			
28			緑色植物	緑藻	Actinastrum hantzschii	+		640	
29					Chlorogonium spp.	40			
30					Chodatella sp.			20	
31					Coelastrum sp.			160	
32					Crucigenia crucifera	160		160	
33					Dichotomococcus sp.			3240	
34					Eudorina elegans			+	
35					Eudorina sp.			640	
36					Golenkinia radiata	40		480	
37					Gonium pectorale	+		320	
38					Micractinium spp.	800		320	
39	Monoraphidium spp.	260				520			
40	Oocystis sp.					80			
41	Pandorina morum					960			
42	Pediastrum duplex	320				480			
43	Pediastrum simplex	+							
44	Pediastrum tetras					160			
45	Polyedriopsis spinulosa					20			
46	Scenedesmus spp.	2440				5160			
47	Schroederia setigera	20							
48	Schroederia spp.					80			
49	Tetraedron spp.	20				40			
50	Tetrastrum heterocanthum					80			
51	CHLOROPHYCEAE	620				1420			
52	輪形動物	輪虫			Brachionus spp.	1		2	
53					Filinia sp.			3	
54					Polyarthra spp.	1		2	
55					Trichocercidae	1		2	
56	繊毛虫	-	CILIOPHORA	20		20			
57	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	7880		7520			
58			鞭毛藻	1420		1460			

採取地		採取年 月 日		根 戸 下		手賀沼中央	
		H 19. 8. 20		H 19. 8. 20			
総 数				57923		89539	
種類組成	藍藻			860		8600	
	クリプト藻			320		340	
	渦鞭毛藻			20		0	
	黄金色藻			0		0	
	珪藻			42680		56610	
	ユーグレナ藻			0		0	
	緑藻			4720		14980	
	その他の植物性動物			9300		8980	
検査条件	固定条件			定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定 (1%) 定性試料：無処理			
	分離条件			定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料 7ml を遠心分離 (1160×g) により濃縮した。			
	検鏡条件			定量試料：専用計数盤 (1.0ml 及び 0.5ml) に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡 (100~400倍) で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。			
	検鏡者所属氏名			(財) 千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久			
備 考							
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻網の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に () を付した。 定量検鏡 (計数時) において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を + で示した。 藍藻網 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別 (3種類) に各々計数した。 藍藻網 Aphanizomenon 属と藍藻網 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻網 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単線細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻網 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径 (3サイズ: 5 μm, 1.0 μm, 2.5 μm) で区別して各々計数した。 珪藻網 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻網 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 							

手賀沼

採取地		採取年	採取月	採取日	採取時刻	水深(m)	採水深度(m)	採水量(ml)	根戸下	手賀沼中央
									H 19. 9. 4	H 19. 9. 4
					10:05		1.95		10:30	
							0.20			
								100		100
No.	門	綱	出現種名							
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon sp. +							
2			Aphanocapsa sp. (20)							
3			Chroococcus sp. 80							
4			Merismopedia spp. (40) (140)							
5			Microcystis aeruginosa +							
6			Phormidium mucicola +							
7			Phormidium spp. (80) (1380)							
8			CYANOPHYCEAE (トリコーム) (20) (80)							
9	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp. 1200 920							
10	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridiniaceae 60 80							
11			DINOPHYCEAE 60 40							
12	不等毛植物	珪藻	Aulacoseira ambigua 1900							
13			Aulacoseira distans 200 380							
14			Aulacoseira granulata 320 980							
15			Nitzschia acicularis 60							
16			Nitzschia spp. 520 2720							
17			Skeletonema potamos 19200 36700							
18			Surirella sp. +							
19			Synedra acus 20 20							
20			Synedra spp. 40							
21			Thalassiosiraceae-5 11300 69100							
22			Thalassiosiraceae-10 22000 45700							
23			Thalassiosiraceae-25 420 900							
24	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp. 260 160							
25	緑色植物	緑藻	Actinastrum hantzschii 160 160							
26			Chlorogonium sp. 20							
27			Closterium sp. +							
28			Crucigenia crucifera 160							
29			Dictyosphaerium sp. 800							
30			Eudorina sp. +							
31			Golenkinia radiata 40 100							
32			Gonium pectorale +							
33			Micractinium spp. 800							
34			Monoraphidium spp. 100 180							
35			Oocystis sp. 160							
36			Pandorina morum 320 480							
37			Pediastrum duplex +							
38			Pediastrum simplex +							
39			Pediastrum tetras +							
40			Pleodorina sp. +							
41			Pteromonas aculeata 20							
42			Scenedesmus spp. 520 1600							
43			Schroederia spp. 20 60							
44			Tetraedron spp. 60							
45			Tetrastrum heterocanthum 240							
46			CHLOROPHYCEAE 20 240							
47	輪形動物	輪虫	Brachionus sp. 1							
48			Polyarthra spp. 1 7							
49			Trichocercidae 1							
50			EUROTATOREA 1							
51	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp. 3 1							
52			CILIOPHORA 60 160							
53	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下) 24700 27400							
54			鞭毛藻 2320 1200							

採取地		採取年	採取月	採取日	採取時刻	水深(m)	採水深度(m)	採水量(ml)	根戸下	手賀沼中央	
									H 19. 9. 4	H 19. 9. 4	
種類組成		総数								85044	194171
		藍藻								220	1620
		クリプト藻								1200	920
		渦鞭毛藻								120	120
		黄金色藻								0	0
		珪藻								53980	158500
		ユーグレナ藻								260	160
		緑藻								2180	4080
		その他の植物性動物								27020	28600
		動物性								64	171

検査条件	固定条件	定量試料
	定量試料	グルタールアルデヒド溶液による固定 (1%)
	定性試料	無処理
	分離条件	定量試料: 採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料: 採水試料 7ml を遠心分離 (1160×g) により濃縮した。
	検鏡条件	定量試料: 専用計数盤 (1.0ml 及び 0.5ml) に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡 (100~400倍) で検鏡した。 定性試料: プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。
	検鏡者所属氏名	(財) 千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久

備考

- 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。
- 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。
- 細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に () を付した。
- 定量検鏡 (計数時) において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を + で示した。
- 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別 (3種類) に各々計数した。
- 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。
- 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。
- 珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属, Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径 (3サイズ: 5 μm, 10 μm, 25 μm) で区別して各々計数した。
- 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。
- 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。

手賀沼

採取地		採取年	採取月	採取日	採取時刻	水深(m)	採水水量(ml)	根戸下	手賀沼中央
		H 19.	9.	18	13:15	2.10	100	H 19.	9.18
								13:34	
								0.20	1.50
								0.20	0.20
								100	100
No.	門	綱	出現種名						
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (藍芽トリコーム)		+			+	
2			Aphanizomenon sp.					+	
3			Aphanocapsa spp.					(40)	
4			Lyngbya sp.			(20)			
5			Merismopedia spp.			(20)		(20)	
6			Microcystis aeruginosa		+				
7			Microcystis wesenbergii		+				
8			Oscillatoria sp.		+				
9			Phormidium spp.			(300)			(1180)
10			CYANOPHYCEAE (トリコーム)						(40)
11	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.			120			200
12	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridiniaceae			60			
13			DINOPHYCEAE						40
14	不等毛植物	珪藻	Aulacoseira ambigua			200			540
15			Aulacoseira distans			80			160
16			Aulacoseira granulata			240			340
17			Aulacoseira sp.			200			
18			Cymatopleura solea			1			
19			Nitzschia acicularis			40			60
20			Nitzschia spp.			420			2680
21			Skeletonema potamos			11300			7700
22			Surirella spp.			3			4
23			Synedra acus						20
24			Synedra sp.						40
25			Thalassiosiraceae-5			36900			91500
26			Thalassiosiraceae-10			47000			51600
27			Thalassiosiraceae-25			340			520
28	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.			20			40
29	緑色植物	緑藻	Actinastrum hantzschii			160			
30			Chlorogonium sp.						40
31			Coelastrum sp.						160
32			Crucigenia crucifera						320
33			Dichotomococcus sp.						+
34			Golenkinia radiata						60
35			Microactinium spp.			560			400
36			Monoraphidium spp.			120			540
37			Pediastrum simplex						+
38			Polyedriopsis spinulosa						40
39			Pteromonas aculeata						20
40			Scenedesmus spp.			520			800
41			Schroederia spp.						160
42			Tetraedron sp.						20
43			CHLOROPHYCEAE			260			
44	輪形動物	輪虫	Brachionus spp.			1			2
45			Filinia sp.						2
46			Keratella sp.			1			
47			Polyarthra spp.			1			2
48			Trichocercidae			2			
49	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.						3
50			POLYHYMENOPHORA			20			
51			CILIOPHORA			80			40
52	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA						1
53	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)			8960			15000
54			鞭毛藻			720			720

採取地		採取年	採取月	採取日	採取時刻	水深(m)	採水水量(ml)	根戸下	手賀沼中央
		H 19.	9.	18				H 19.	9.18
種類組成		総数						108669	175054
								340	1280
								120	200
								60	40
								0	0
								96724	155164
								20	40
								1620	2560
								9680	15720
								105	50

検査条件	固定条件	定量試料
		定量試料：グルテールアルデヒド溶液による固定 (1%)
		定性試料：無処理
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。
		定性試料：採水試料 7ml を遠心分離 (1160×g) により濃縮した。
	検鏡条件	定量試料：専用計数盤 (1.0ml 及び 0.5ml) に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡 (100~400倍) で検鏡した。
		定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。
	検鏡者所属氏名	(財)千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久

備考

- 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。
- 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。
- 細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に () を付した。
- 定量検鏡 (計数時) において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を + で示した。
- 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別 (3種類) に各々計数した。
- 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。
- 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。
- 珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属, Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径 (3サイズ: 5 μm, 10 μm, 25 μm) で区別して各々計数した。
- 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。
- 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。

手賀沼

採取地		採取地			
採取年	採取月	採取日	採取時刻		
全水深 (m)		採取水深 (m)			
採取水量 (ml)		採取水量 (ml)			
		根戸下	手賀沼中央		
		H 19. 10. 4	H 19. 10. 4		
		10:15	10:36		
		1.95	1.25		
		0.20	0.20		
		100	100		
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon sp.	+	
2			Merismopedia sp.		(20)
3			Microcystis aeruginosa	+	
4			Microcystis wesenbergii	+	
5			Phormidium spp.	+	(20)
6	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	40	40
7	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridiniaceae		+
8	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.	20	
9		珪藻	Aulacoseira ambigua	+	
10			Aulacoseira distans	140	620
11			Aulacoseira granulata	100	260
12			Bacillaria paradoxa	+	
13			Nitzschia spp.	80	340
14			Skeletonema potamos	980	32100
15			Synedra acus		20
16			Synedra ulna	+	
17			Thalassiosiraceae-5	1790	6270
18			Thalassiosiraceae-10	1520	14700
19			Thalassiosiraceae-25	80	440
20	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.		+
21			Trachelomonas sp.	20	
22	緑色植物	緑藻	Actinastrum hantzschii		+
23			Chlorogonium sp.		20
24			Coelastrum sp.	160	
25			Crucigenia tetrapedia	80	
26			Golenkinia radiata		40
27			Micractinium sp.		320
28			Monoraphidium spp.	40	20
29			Pediastrum tetras		+
30			Scenedesmus spp.	360	120
31			Schroederia sp.	20	
32			CHLOROPHYCEAE		120
33	輪形動物	輪虫	Polarthra spp.	1	4
34			Trichocercidae		1
35	繊毛虫	-	CILIOPHORA	1	20
36	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	6270	7340
37			鞭毛藻	520	420
総		数		12222	63255
種類組成		藍藻	0	40	
		クリプト藻	40	40	
		渦鞭毛藻	0	0	
		黄金色藻	20	0	
		珪藻	4690	54750	
		ユーグレナ藻	20	0	
		緑藻	660	640	
		その他の植物性動物	6790	7760	
			2	25	
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定 (1%) 定性試料：無処理		
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料 7ml を遠心分離 (1160×g) により濃縮した。		
		検鏡条件	定量試料：専用計数盤 (1.0ml 及び 0.5ml) に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡 (100~400倍) で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
		検鏡者所属氏名	(財) 千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久		
備考					
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻網の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に () を付した。 定量検鏡 (計数時) において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別 (3種類) に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径 (3サイズ: 5 μm, 10 μm, 25 μm) で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 					

手賀沼

採取地		採取年	採取月	採取日	根戸下	手賀沼中央
採取時刻					H 19. 10. 15	H 19. 10. 15
採取時刻					12:13	11:55
全水深 (m)					2.00	1.45
採取水深 (m)					0.20	0.20
採水量 (ml)					100	100
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Microcystis aeruginosa	+		+
2			Phormidium spp.	(20)		(40)
3	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	640		320
4	不等毛植物	珪藻	Attheya zachariasii	20		
5			Aulacoseira ambigua	200		360
6			Aulacoseira distans	420		1220
7			Aulacoseira granulata	60		460
8			Aulacoseira sp.	80		
9			Bacillaria paradoxa	+		+
10			Gyrosigma sp.			1
11			Navicula spp.			60
12			Nitzschia acicularis	140		160
13			Nitzschia spp.	100		1000
14			Skeletonema potamos	45100		89200
15			Synedra acus	+		40
16			Synedra ulna	20		20
17			Synedra spp.			40
18			Thalassiosiraceae-5	8420		14500
19			Thalassiosiraceae-10	6980		13400
20			Thalassiosiraceae-25	480		720
21	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.			20
22	緑色植物	緑藻	Actinastrum hantzschii			280
23			Crucigenia crucifera			320
24			Dictyosphaerium sp.	320		
25			Golenkinia radiata	20		
26			Micractinium spp.	400		240
27			Monoraphidium spp.	60		240
28			Oocystis sp.			80
29			Pediastrum duplex	+		+
30			Pteromonas aculeata			20
31			Scenedesmus spp.	360		360
32			Schroederia sp.	20		
33			Tetraedron sp.			20
34			CHLOROPHYCEAE	120		80
35	輪形動物	輪虫	Keratella sp.			+
36	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	5		2
37		一	CILIOPHORA	40		100
38	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA	1		1
39	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	7700		21700
40			鞭毛藻	1780		1180
総数				73506		146183
種類組成		藍藻	藻	20		40
		クリプト藻	藻	640		320
		渦鞭毛藻	藻	0		0
		黄金色藻	藻	0		0
		珪藻	藻	62020		121181
		ユーグレナ藻	藻	0		20
		緑藻	藻	1300		1640
		その他の植物性動物	性	9480		22880
		動物性	性	46		102
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理			
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料 7ml を遠心分離（1160×g）により濃縮した。			
		検鏡条件	定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。			
		検鏡者所属氏名	(財)千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久			
備考						
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群数で計数した結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外については同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属, Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm, 10 μm, 25 μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						

採取地		根戸下	手賀沼中央			
採取年月日		H 19. 11. 5	H 19. 11. 5			
採取時刻		10:30	10:47			
全水深 (m)		1.90	1.35			
採取水深 (m)		0.20	0.20			
採水量 (ml)		100	100			
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Merismopedia sp.		+	
2			Phormidium spp.		(100)	
3			CYANOPHYCEAE (トリコーム)	+	(40)	
4	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	140	720	
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridiniaceae		20	
6	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.		80	
7		珪藻	Aulacoseira ambigua	+	300	
8			Aulacoseira distans	480	800	
9			Aulacoseira granulata	120	280	
10			Aulacoseira italica		360	
11			Nitzschia acicularis	20	60	
12			Nitzschia spp.	20	420	
13			Skeletonema potamos	5880	50300	
14			Synedra spp.		40	
15			Thalassiosiraceae-5	2690	8420	
16			Thalassiosiraceae-10	1300	22000	
17		Thalassiosiraceae-25	80	800		
18	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.		+	
19	緑色植物	緑藻	Actinastrum hantzschii	160		
20			Coelastrum sp.		160	
21			Micractinium spp.		400	
22			Monoraphidium spp.	60	140	
23			Pediastrum duplex		+	
24			Scenedesmus spp.	120	480	
25			CHLOROPHYCEAE	20	560	
26	輪形動物		輪虫	Trichoercidae		1
27	繊毛虫		多膜口	Tintinnopsis sp.	1	
28				CILLOPHORA	20	20
29	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	6810	27900	
30			鞭毛藻	760	3160	
総数				18681	117561	
種類組成		藍藻		0	140	
		クリプト藻		140	720	
		渦鞭毛藻		0	20	
		黄金色藻		0	80	
		珪藻	10590		83780	
		ユーグレナ藻		0	0	
		緑藻	360		1740	
		その他の植物性動物	7570		31060	
			21		21	
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理			
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料7mlを遠心分離（1160×g）により濃縮した。			
		検鏡条件	定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一 昼夜放置後、倒立顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。			
		検鏡者所属氏名	(財)千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久			
備考						
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻網の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻網 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻網 Aphanizomenon 属と藍藻網 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻網 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻網 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 珪藻網 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻網 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						

手賀沼

採取地		根戸下	手賀沼中央		
採取年月日		H 19. 11. 15	H 19. 11. 15		
採取時刻		13:10	13:27		
全水深 (m)		1.87	1.26		
採取水深 (m)		0.20	0.20		
採水量 (ml)		100	100		
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Phormidium spp.	(60)	
2	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	200	900
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	1	
4			DINOPHYCEAE	20	40
5	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.		40
6		珪藻	Asterionella formosa		+
7			Aulacoseira ambigua	100	+
8			Aulacoseira distans	1840	1420
9			Aulacoseira granulata	240	+
10			Nitzschia acicularis		40
11			Nitzschia spp.	100	100
12			Skeletonema potamos	2900	51600
13			Thalassiosiraceae-5	1610	8240
14			Thalassiosiraceae-10	1600	12700
15			Thalassiosiraceae-25	80	580
16	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.		+
17	緑色植物	緑藻	Coelastrum sp.		160
18			Dictyosphaerium sp.	160	
19			Micractinium spp.	240	1200
20			Monoraphidium spp.	80	100
21			Pediastrum duplex	+	
22			Scenedesmus spp.	280	480
23			Tetrastrum heterocanthum	80	
24			Tetrastrum staurogeniaeforme	160	
25			CHLOROPHYCEAE	20	320
26	輪形動物	輪虫	Keratella sp.	2	
27			EUROTATOREA	1	
28	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	1	4
29			CILIOPHORA		+
30	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	6980	15600
31			鞭毛藻	1080	1960
総数				17835	95564
種類組成		藍藻	60	0	
		クリプト藻	200	900	
		渦鞭毛藻	21	40	
		黄金色藻	0	40	
		珪藻	8470	74680	
		ユーグレナ藻	0	0	
		緑藻	1020	2260	
		その他の植物性動物	8060	17560	
		動物性	4	84	
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料 7 ml を遠心分離（1160×g）により濃縮した。		
		検鏡条件	定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
		検鏡者所属氏名	(財)千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久		
備考					
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm, 10 μm, 25 μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 					

手賀沼

採取地		採取年 月 日		根 戸 下		手賀沼中央	
		H 19.12. 3				H 19.12. 3	
採取時刻		9:52		10:11			
全水深 (m)		1.90		1.38			
採取水深 (m)		0.20		0.20			
採水量 (ml)		100		100			
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Phormidium spp.		+		(40)
2			CYANOPHYCEAE (トリコーム)				(20)
3	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.		80		200
4	不等毛植物	珪藻	Asterionella formosa		+		260
5			Aulacoseira distans		560		1480
6			Nitzschia acicularis		60		100
7			Nitzschia spp.		80		100
8			Skeletonema potamos		1940		14900
9			Synedra acus		20		20
10			Synedra sp.				20
11			Thalassiosiraceae-5		1790		3940
12			Thalassiosiraceae-10		2320		27200
13			Thalassiosiraceae-25		660		8500
14	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.				+
15	緑色植物	緑藻	Microactinium sp.		240		
16			Monoraphidium spp.		60		40
17			Scenedesmus spp.		160		
18			CHLOROPHYCEAE		20		200
19	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium sp.				1
20	不明	フランクトン	微小鞭毛藻 (5 μm以下)		3580		11300
21			鞭毛藻		300		500
総 数					11870		68821
種類組成		藍藻		0		60	
		クリプト藻		80		200	
		渦鞭毛藻		0		0	
		黄金色藻		0		0	
		珪藻		7430		56520	
		ユーグレナ藻		0		0	
		緑藻		480		240	
		その他の植物性動物		3880		11800	
				0		1	
検査条件		固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理			
		分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料 7ml を遠心分離（1160×g）により濃縮した。			
		検鏡条件		定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。			
		検鏡者所属氏名		(財)千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久			
備 考							
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 							

手賀沼

採取地		根戸下	手賀沼中央		
採取年月日		H 19.12.17	H 19.12.17		
採取時刻		14:12	14:30		
全水深 (m)		1.98	1.30		
採取水深 (m)		0.20	0.20		
採水量 (ml)		100	100		
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon sp.		+
2			Phormidium spp.	(40)	(20)
3			CYANOPHYCEAE (トリコーム)	+	+
4	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	180	180
5	不等毛植物	珪藻	Asterionella formosa		60
6			Aulacoseira ambigua		+
7			Aulacoseira distans	880	980
8			Aulacoseira granulata	200	+
9			Aulacoseira spp.	160	40
10			Nitzschia acicularis	320	580
11			Nitzschia spp.	220	160
12			Skeletonema potamos	1460	4360
13			Synedra acus		+
14			Synedra spp.	20	20
15			Thalassiosiraceae-5	2510	3580
16			Thalassiosiraceae-10	15000	58700
17			Thalassiosiraceae-25	4390	14900
18	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	+	+
19			Trachelomonas sp.		20
20	緑色植物	緑藻	Micractinium spp.	40	160
21			Monoraphidium spp.	120	60
22			Scenedesmus spp.		320
23			CHLOROPHYCEAE		40
24	織毛虫	-	CILIOPHORA	20	40
25	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	6270	14500
26			鞭毛藻	300	700
総数				32130	99420
種類組成					
			藍藻	40	20
			クリプト藻	180	180
			渦鞭毛藻	0	0
			黄金色藻	0	0
			珪藻	25160	83380
			ユーグレナ藻	0	20
			緑藻	160	580
			その他の植物性	6570	15200
			動物性	20	40
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料 7ml を遠心分離（1160×g）により濃縮した。	
			検鏡条件	定量試料：専用計数盤（1.0ml 及び 0.5ml）に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。	
			検鏡者所属氏名	(財)千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久	
備考					
<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体系で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 					

手賀沼

採取地		採取年	採取月	採取日	根戸下	手賀沼中央
採取地		H 20.	1.	8	H 20.	1. 8
採取時刻		9:44			10:03	
全水深 (m)		1.98			1.40	
採取水深 (m)		0.20			0.20	
採水量 (ml)		100			100	
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Phormidium sp.			+
2			CYANOPHYCEAE (トリコーム)			+
3	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	20		60
4	不等毛植物	珪藻	Asterionella formosa	120		+
5			Aulacoseira distans	200		560
6			Aulacoseira granulata	+		+
7			Aulacoseira sp.			160
8			Nitzschia acicularis	40		120
9			Nitzschia spp.	120		40
10			Skeletonema potamos	120		660
11			Synedra acus			+
12			Synedra sp.	20		+
13			Thalassiosiraceae-5	1430		1970
14			Thalassiosiraceae-10	2520		21000
15			Thalassiosiraceae-25	1060		11100
16	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.			20
17	緑色植物	緑藻	Chlorogonium sp.			+
18			Monoraphidium spp.			40
19			Scenedesmus spp.	80		160
20			Tetrastrum staurogeniaeforme			80
21			CHLOROPHYCEAE	40		6450
22	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	2330		360
23			鞭毛藻	320		42780
総数				8420		42780
種類組成			藍藻	0		0
			クリプト藻	20		60
			渦鞭毛藻	0		0
			黄金色藻	0		0
			珪藻	5630		35610
			ユーグレナ藻	0		20
			緑藻	120		280
			その他の植物性動物性	2650		6810
			動物性	0		0
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理			
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料7mlを遠心分離（1160×g）により濃縮した。			
		検鏡条件	定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。			
		検鏡者所属氏名	(財)千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久			
備考						
<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						

採取地		採取年	採取月	採取日	根戸下	手賀沼中央
採取地		H 20.	1.	21	H 20.	1. 21
採取時刻		10:18		10:40		
水深 (m)		1.95		1.26		
採取水深 (m)		0.20		0.20		
採水量 (ml)		100		100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Phormidium spp.	(20)	+	
2	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	20	60	
3	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.		20	
4		珪藻	Asterionella formosa	80	1260	
5			Aulacoseira distans	160	200	
6			Aulacoseira sp.		+	
7			Fragilaria crotonensis		+	
8			Navicula sp.	20		
9			Nitzschia acicularis	140	160	
10			Nitzschia spp.	60	60	
11			Skeletonema potamos		180	
12			Synedra ulna		+	
13			Synedra sp.		20	
14			Thalassiosiraceae-5	1610	716	
15			Thalassiosiraceae-10	7700	53400	
16		Thalassiosiraceae-25	1800	22900		
17	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	20		
18	緑色植物	緑藻	Chlorogonium sp.		20	
19			Monoraphidium spp.	120		
20	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.		1	
21	繊毛虫	—	CILIOPHORA		+	
22	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	5010	8060	
23			鞭毛藻	480	280	
総数				17240	87357	
種類組成			藍藻	20	0	
			クリプト藻	20	60	
			渦鞭毛藻	0	0	
			黄金色藻	0	20	
			珪藻	11570	78896	
			ユーグレナ藻	20	0	
			緑藻	120	20	
			その他の植物性動物性	5490	8340	
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料7mlを遠心分離（1160×g）により濃縮した。		
			検鏡条件	定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
			検鏡者所属氏名	(財)千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久		
備考						
<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						

手賀沼

採取地		採取年	採取月	採取日	根戸下	手賀沼中央
採取時刻					H 20. 2. 6	H 20. 2. 6
採取時刻					10:12	10:33
全水深 (m)					2.10	1.40
採取水深 (m)					0.20	0.20
採水量 (ml)					100	100
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon sp.		+	
2			Phormidium spp.	(60)		+
3	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	60		20
4	不等毛植物	珪藻	Asterionella formosa	220		120
5			Aulacoseira distans	140		440
6			Aulacoseira sp.			140
7			Nitzschia acicularis	40		80
8			Nitzschia spp.	100		180
9			Skeletonema potamos	80		280
10			Synedra acus	+		+
11			Synedra ulna	+		+
12			Synedra spp.	60		180
13			Thalassiosiraceae-5	2150		+
14			Thalassiosiraceae-10	26000		81100
15			Thalassiosiraceae-25	1420		16100
16	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.			20
17	緑色植物	緑藻	Actinastrum hantzschii			240
18			Chlorogonium sp.			20
19			Micractinium sp.			80
20			Monoraphidium spp.	20		140
21	繊毛虫	-	CILIOPHORA	20		+
22	不明プランクトン	-	微小鞭毛藻 (5 μm以下)	6810		5910
23			鞭毛藻	100		120
総数					37280	105170
種類組成		藍藻	60		0	
		クリプト藻	60		20	
		渦鞭毛藻	0		0	
		黄金色藻	0		0	
		珪藻	30210		98620	
		ユーグレナ藻	0		20	
		緑藻	20		480	
		その他の植物性動物性	6910		6030	
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理			
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料7mlを遠心分離（1160×g）により濃縮した。			
		検鏡条件	定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。			
		検鏡者所属氏名	(財)千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久			
備考						
<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						

手賀沼

採取地		採取年	採取月	採取日	根戸下	手賀沼中央
採取地		H 20. 3. 18			H 20. 3. 18	
採取時刻		9:58			10:16	
全水深 (m)		2.05			1.48	
採取水深 (m)		0.20			0.20	
採水量 (ml)		100			100	
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon sp.			+
2			Phormidium sp.		(20)	
3			CYANOPHYCEAE (トリコーム)			+
4	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.		60	260
5	不等毛植物	珪藻	Asterionella formosa		360	240
6			Aulacoseira distans		380	120
7			Aulacoseira granulata		+	+
8			Aulacoseira spp.		60	40
9			Navicula spp.		20	20
10			Nitzschia acicularis		700	100
11			Nitzschia spp.		400	60
12			Skeletonema potamos			220
13			Synedra acus		40	20
14			Synedra ulna			+
15			Synedra spp.		200	20
16			Thalassiosiraceae-5		1610	1250
17			Thalassiosiraceae-10		26300	42300
18			Thalassiosiraceae-25		10700	11600
19	緑色植物	緑藻	Actinastrum hantzschii			80
20			Micractinium spp.		80	720
21			Monoraphidium spp.		60	40
22			Scenedesmus spp.		160	80
23	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.			1
24			EUROTATOREA			2
25	織毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.		2	
26			Tintinnopsis sp.		+	
27			CILIOPHORA		120	100
28	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)		7880	12700
29			鞭毛藻		420	400
総数					49572	70373
種類組成		藍藻	20	0		
		クリプト藻	60	260		
		渦鞭毛藻	0	0		
		黄金色藻	0	0		
		珪藻	40770	55990		
		ユーグレナ藻	0	0		
		緑藻	300	920		
		その他の植物性動物	8300	13100		
		動物性	122	103		
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理			
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料7mlを遠心分離（1160×g）により濃縮した。			
		検鏡条件	定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。			
		検鏡者所属氏名	(財)千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久			
備考						
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						

手賀沼

採取地		採取年	採取月	採取日	根戸下	手賀沼中央
採取地		H 20.	3.	26	H 20.	3. 26
採取時刻		9:48		10:16		
全水深 (m)		2.06		1.40		
採取水深 (m)		0.20		0.20		
採水量 (ml)		100		100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon sp.			+
2			Phormidium spp.			(60)
3			CYANOPHYCEAE (トリコーム)		+	(80)
4	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.		180	340
5	不等毛植物	珪藻	Asterionella formosa		920	380
6			Aulacoseira distans		120	320
7			Aulacoseira granulata			+
8			Aulacoseira sp.		60	
9			Navicula sp.		20	
10			Nitzschia acicularis		180	440
11			Nitzschia spp.		220	240
12			Skeletonema potamos		80	1420
13			Synedra acus		+	20
14			Synedra ulna		20	
15			Synedra spp.		120	280
16			Thalassiosiraceae-5		1250	1610
17			Thalassiosiraceae-10		13400	57800
18			Thalassiosiraceae-25		2400	23500
19	緑色植物	緑藻	Actinastrum hantzschii			400
20			Chlamydomonas sp.			20
21			Chlorogonium spp.		40	40
22			Chodatella sp.			20
23			Dictyosphaerium sp.			240
24			Elaktothrix sp.			80
25			Micractinium spp.		880	1040
26			Monoraphidium spp.		40	60
27			Scenedesmus spp.		80	720
28			Tetrastrum heterocanthum			80
29			CHLOROPHYCEAE		20	20
30	織毛虫	ー	CILIOPHORA			20
31	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)		6450	10900
32			鞭毛藻		280	200
総数					26760	100330
種類組成		藍藻		0	140	
		クリプト藻		180	340	
		渦鞭毛藻		0	0	
		黄金色藻		0	0	
		珪藻		18790	86010	
		ユーグレナ藻		0	0	
		緑藻		1060	2720	
		その他の植物性動物		6730	11100	
				0	20	
検査条件		固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
		分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料 7ml を遠心分離（1160×g）により濃縮した。		
		検鏡条件		定量試料：専用計数盤（1.0ml 及び 0.5ml）に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
		検鏡者所属氏名		(財)千葉県環境財団 環境システムチーム 早川雅久		
備考						
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単線細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						